

平成30年度 第1回島根県農政審議会 次第

【1日目】会議の部

日時 7月23日(月) 13:30~15:00

場所 県庁講堂

【2日目】視察の部

日時 7月24日(火) 8:30~11:30

場所 だんだん牧場(隠岐の島町岬町) ほか

【1日目】会議の部

1 開 会

2 農林水産部長あいさつ

3 議事

1) 農業振興に関する目標設定について 【資料1】

2) 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画第3期戦略プランの取組み状況について
(隠岐圏域) 【資料2】

4 その他

【2日目】視察の部

5 現地調査 【資料2】

1) だんだん牧場 (隠岐の島町岬町石畑)

PJ: 隠岐牛産地強化プロジェクト

説明: (株)だんだん牧場 松尾伸之 取締役 企画開発部長

2) 藻塩米・ライスセンター (隠岐の島町下西)

PJ: 隠岐の特色ある水田農業推進プロジェクト

説明: JAしまね隠岐地区本部 広兼克彦 経済部 部長

3) 大峯牧野 (隠岐の島町西村)

PJ: 隠岐牛産地強化プロジェクト

説明: 隠岐支庁農林局職員

6 閉会のあいさつ

7 閉 会

平成30年度第1回島根県農政審議会 出席者名簿

島根県農政審議会委員

分野		氏名	勤務先(所属団体)・役職	松江	隠岐
市町村		カゲヤマ ヨシキ 景山 良材	美郷町長	欠席	
関係団体		カゲヤマ ヨシカズ 影山 喜一	JAしまね中央会常務理事	○	○
学識経験者	大学	タニグチ ケンジ 谷口 憲治	就実大学教授、島根大学名誉教授	○	○
	マスコミ	マエダ コウジ 前田 幸二	山陰中央新報社特別論説委員	○	欠席
	ツリズム	ササキ キョウコ 佐々木 京子	株式会社 扇原茶園 取締役	○	○
農業者	個人経営	イジリ ヨシノリ 井尻 義教	和牛繁殖	○	○
	個人経営	フジエ ミユキ 藤江 美由紀	ブドウ	○	○
	個人経営	キッカワ ヒロエ 吉川 裕江	水稻、施設野菜	○	○
	集落営農	ワタナベ イクコ 渡邊 育子	(有) 赤雁の里、施設園芸	欠席	
消費者	流通	ヨネハラ ケンジ 米原 健二	松江連合青果(株) 社長	○	欠席
	流通	タカハシ ハルミ 高橋 晴美	高橋米穀、(株)ほんき村	○	欠席
	流通	リョウケ ヤスモト 領家 康元	(株)キヌヤ社長	欠席	

県関係者	松浦 芳彦	農林水産部 部長	○	○
	鈴木 大造	農林水産部 次長	○	欠席
	栗原 一郎	農林水産部 次長	○	欠席
	瀬尾 光広	農業経営課 課長	○	○
	鳥屋尾 健史	農産園芸課 課長	○	○
	原 正三	畜産課 課長	○	○
	廣川 正英	農村整備課 課長	○	欠席
	角森 章子	しまねブランド推進課 調整監	○	○
	中村 純一	東部農林振興センター 所長	○	欠席
	引野 千賀志	東部農林振興センター 総合振興スタッフ 調整監	○	欠席
	田和 貢	隠岐支庁農林局 局長	○	○
	安達 浩美	隠岐支庁農林局 農政・普及部 部長	欠席	○
事務局	武田 昌司	隠岐支庁農林局 総合振興スタッフ 調整監	○	○
	中尾 幸義	農林水産総務課 政策推進スタッフ 管理監	○	○
	福田 誠	農林水産総務課 政策推進スタッフ 企画幹	○	○

平成30年度 第1回島根県農政審議会 概要

【会議の部】

日 時：7月23日（月）13：30～15：00

場 所：島根県庁講堂（6階）

出席委員：谷口委員、前田委員、影山委員、佐々木委員、井尻委員、藤江委員、吉川委員、米原委員、高橋委員

県出席者：松浦部長、鈴木次長、栗原次長ほか 関係職員

1 開 会

2 農林水産部長あいさつ

3 議事（内容と主な意見、質疑）

(1) 農業振興に関する目標設定について（農林水産総務課から説明）

○農業産出額には自家消費部分は入っているのか

⇒入っている。

○耕種について算出額378億と目標額があるが、畜産はこれ以外にあつてこの目標産出額になると言うことか。

⇒その通り。耕種部門の産出額を耕地の全国シェア率まで上げる算出になっている。一方、農業産出額629億円の中には畜産部門も含まれているので、畜産部門も一緒になって、この100億の達成に向けては取り組んでいくという考え方になっている。

○生産農業所得についても目標額に畜産が入っていると言うことか。

⇒その通り。

○「昨年から水田における園芸振興を本格的に推進」と記してあるが、どういった作物を推進していくのか。また、実際に取り組んでいる生産者は既にあるのか？

⇒JA重点振興品目のトマト、白ネギ、タマネギ、アスパラ、キャベツを中心に県も一緒になって推進していきたい。これらの品目は既にある程度、産地化が図られつつあるところもあるので、広がりを持たせていくことを考えている。

○目標としてはいいと思うが、それまでのところで、農薬の不適切使用などが問題となっているので農薬を適正に使用するような指導を徹底してやってもらいたい。

⇒例えば、生産者から照会、質問があったときの対応の仕方を見直すとか絵を使ったりしたわかりやすい資料を活用するなど指導方法を改善し、関係機関と連携しながら対応していきたい。

(2) 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画第3期戦略プランの取組み状況について（隠岐圏域 隠岐支庁農林局より説明）

○半牧半XのXの部分は、具体的にはどのようなものなのか

⇒道路等の草刈り作業やイワガキの養殖、畜産のヘルパーなど

○成果指標の主食用米の契約取引率が28年度の26.6%から29年度は22.3%に落ちている要因は何だったのか

⇒大型稲作農家でWCSに力を入れたり、人手の関係もあり藻塩米が作付けできなかったことが大きな要因の1つ。

○隠岐牛について、放牧とあるが、スーパーなどにある「しまね和牛」にも含まれているのか

⇒子牛の生産が中心であり、島内外から隠岐の子牛を求めに來られ、買われた牛がいろんなブランドになるということ。隠岐では潮風ファームという会社が独自のブランドで東京市場のほうへ出荷している。

○藻塩米について、味や品質などについてわかりやすく説明すると、もっとブランドとしてよくなるのではないか。また、隠岐では、スーパーとかで、県外のお米も販売されているのか。

⇒大学と連携してたんぱく値、アミロース値、うまみ成分等を調査中であり、今後こうしたところを強く消費者に訴えかけていきたい。また、島内の米の流通については、本土からも入ってきているけれども、多くは島内でつくられた米である。

こうした質疑のほか、意見要望などもあった。

4 その他

【現地視察の部】

日 時：7月24日（火）8：50～11：10

場 所：隠岐圏域・だんだんファームほか

出席委員：谷口委員、影山委員、佐々木委員、井尻委員、藤江委員、吉川委員

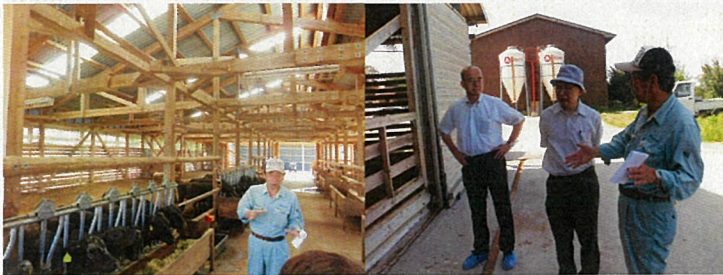
県出席者：松浦部長ほか 関係職員

5 現地調査

プランに関する現地調査を行った

(1) だんだん牧場の肉用牛繁殖経営（隠岐の島町岬町）

- ・場所：だんだん牧場（隠岐の島町岬町）
- ・説明：（株）だんだん牧場 松尾伸之 取締役 企画開発部長
- ・概要：企業の農業参入による大規模な肉用牛繁殖経営の概況を調査



(2) 藻塩米の取組み

- ・場所：ライスセンター（隠岐の島町下西）
- ・説明：JAしまね隠岐地区本部 広兼克彦 経済部 部長
- ・概要：隠岐の特徴を活かした栽培方法、卸業者と連携した売れる米作りの状況などを調査



(3) 牧野での飼養管理

- ・場所：大峯牧野（隠岐の島町西村）
- ・説明：島根県隠岐支庁農林局
- ・概要：隠岐の放牧を支える公共牧野の概況、大峯牧野の状況を調査



6 閉会